

平成 28 年度 人権教育に関するアンケート 【学校用】

このアンケートは、学校の人権教育の推進に関わる事柄や実施状況について尋ねるものです。

それぞれの質問について、当てはまるものや学校の状況に最も近いものを選んで回答してください。また、「その他」につきましては、具体的な内容をご記入ください。

なお、回答する際は、学校長（分校の場合は教頭）と人権教育主任がそれぞれご回答くださるようお願いいたします。

※次の（ ）に県市町村名・学校名を記入してください。

- () 市町村立、学校組合立、県立
- () 小・中学校（義務教育学校）、高等学校、
特別支援学校
- () 分校

記載者【学校長・分校教頭・人権教育主任】

※記載された方の役職を○で囲んでください。

人権が尊重される学校・学級づくりを進めるためには、教科等の指導や生徒指導、学級経営等、学校の教育活動全体を通じて、人権教育を推進することが求められます。そのような視点で、学校の人権教育の取組を振り返り、次の質問にお答えください。

【1～11：学校教育活動全体を通じた人権教育の推進に関する質問】

1 教職員の姿勢そのものが人権教育の重要な部分であることを自覚したうえで、児童生徒自身をしっかりと認め、自尊感情を育む環境づくりに努めていますか。

ア 努めている	イ どちらかと言えば努めている
ウ どちらかと言えば努めることができていない	エ 努めることができていない

2 児童生徒のもつ力や可能性を引き出す開発的な生徒指導を通して、児童生徒一人一人が自己実現できるように取り組むとともに、児童生徒同士が良さを認め合い、支え合える人間関係を築くことができるように取り組んでいますか。

ア 取り組んでいる	イ どちらかと言えば取り組んでいる
ウ どちらかと言えば取り組めていない	エ 取り組めていない

3 予防的な視点に立ち、いじめ、不登校などの課題を解決できるよう、人権が尊重された学校経営・学級経営・生徒指導・学習指導に取り組んでいますか。

ア 取り組んでいる	イ どちらかと言えば取り組んでいる
ウ どちらかと言えば取り組めていない	エ 取り組めていない

4 いじめなどの問題が起きたとき、被害者が守られるよう、迅速かつ慎重に、学校全体で取り組むとともに、加害者の課題も改善できるように取り組んでいますか。

ア 取り組んでいる	イ どちらかと言えば取り組んでいる
ウ どちらかと言えば取り組めていない	エ 取り組めていない

5 全ての児童生徒がわかる・できる実感味わうことができるよう、ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりに向けた授業改善に取り組んでいますか。

ア 取り組んでいる	イ どちらかと言えば取り組んでいる
ウ どちらかと言えば取り組めていない	エ 取り組めていない

6 特別な教育的支援が必要な児童生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成するなど、きめ細かな指導を行っていますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| ア 行っている | イ どちらかと言えば行っている |
| ウ どちらかと言えば行っていない | エ 行っていない |

7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、児童生徒が安心して過ごせる環境づくりに努めていますか。※ワーカーが配置されていない学校は、カウンセラーのみでお答えください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ア 努めている | イ どちらかと言えば努めている |
| ウ どちらかと言えば努めることができていない | エ 努めることができていない |

8 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等のそれぞれの教育活動において、権利と責任についての学習や個別的な人権課題に関連した学習、人権感覚を育成する取組を推進していますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ア 推進している | イ どちらかと言えば推進している |
| ウ どちらかと言えば推進できていない | エ 推進できていない |

9 防災教育、情報教育、キャリア教育等と関連した人権教育の取組を推進していますか。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ア 推進している | イ どちらかと言えば推進している |
| ウ どちらかと言えば推進できていない | エ 推進できていない |

10 いじめやインターネットにかかわる問題を解決するため、児童会や生徒会活動の充実を図っていますか。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ア 図っている | イ どちらかと言えば図っている |
| ウ どちらかと言えば図ることができていない | エ 図ることができていない |

11 校種間の学習内容の違いから児童生徒が学校生活に適応できないなどの問題の解消に向けて、各校種へのつながりを意識した取組の充実を図っていますか。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ア 図っている | イ どちらかと言えば図っている |
| ウ どちらかと言えば図ることができていない | エ 図ることができていない |

学校の教育活動全体を通じて展開される人権教育では、児童生徒一人一人に、人権に関する知的理解と人権感覚を身に付けさせ、自他の人権を大切にしようとする態度や行動力を育成することを目指しています。そのような視点で、学校の人権教育の内容を振り返り、次の質問にお答えください。

【12～18：人権教育の内容の創造に関する質問】

12 地域の特色や児童生徒の実態などを踏まえて、協力・参加・体験を中核に置いた指導方法の工夫を行うとともに、人権教育を通して育てたい3つの側面（知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面）から、バランスよく学習内容を設定していますか。（高知県人権教育推進プラン-改定版- P. 5参照）

ア 設定している	イ どちらかと言えば設定している
ウ どちらかと言えば設定できていない	エ 設定できていない

13 児童生徒に権利と責任を理解させることを通して、児童生徒が主体的にいじめや差別をなくしていく力を育成していますか。

ア 育成している	イ どちらかと言えば育成している
ウ どちらかと言えば育成できていない	エ 育成できていない

14 日々の仲間づくりが大切であることから、人間関係づくりの構築に向けた教育内容に取り組んでいますか。

ア 取り組んでいる	イ どちらかと言えば取り組んでいる
ウ どちらかと言えば取り組めていない	エ 取り組めていない

15 キャリア教育や体験活動などを通して、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、自らの進路を切り拓く力を育てるための教育内容に取り組んでいますか。

ア 取り組んでいる	イ どちらかと言えば取り組んでいる
ウ どちらかと言えば取り組めていない	エ 取り組めていない

16 探究的な学習や協働的な学習を通して、いじめや差別などの問題の本質を見極める力を育成していますか。

ア 育成している	イ どちらかと言えば育成している
ウ どちらかと言えば育成できていない	エ 育成できていない

17 現在、学校で指導している人権学習（個別の人権課題）の取組内容について選択してください。
 （複数回答可）

ア いじめ問題	イ 同和問題（部落差別）
ウ 女性の人権や男女平等	エ 高齢者の人権
オ 障害者の人権	カ HIV感染者の人権
キ ハンセン病元患者の人権	ク 外国人の人権
ケ 児童生徒の権利	コ 戦争・平和
サ 命の大切さ	シ インターネット上の人権侵害
ス 犯罪被害に遭った人や家族の人権	セ 災害時における人権
ソ 刑を終えて出所した人	タ 北朝鮮当局による拉致問題
チ 性的指向	ツ 性同一性障害
テ 様々なハラスメント問題	ト その他（ ）

18 人権学習を進めるうえで、課題となっていることについて選択してください。（複数回答可）

ア 教職員の共通理解を図り、人権教育主任が中心になって人権教育を組織的に推進すること （人権教育の活動に関する企画・立案、校務分掌間の連絡調整・統括）	
イ 次年度に向けた全体計画、年間指導計画の見直しや改善	
ウ 教科・領域の時間においての人権学習の実施（計画・準備・実施）	
エ 人権学習で使用する視聴覚教材の準備	
オ 校内においての人権課題に関する研修	カ 授業研究等の実施
キ 地域や関係機関の人材を活用した教育活動	ク 家庭や地域への人権啓発
ケ その他（ ）	

人権教育は、全ての教育の基本であり、人権教育を進めるにあたっては、教員一人一人の人権意識を高め、実践力を身に付けるための研修の充実が求められます。そのような視点で、校内研修を振り返り、次の質問にお答えください。

【19～25：教職員研修の充実に関する質問】

19 計画的・継続的な人権教育に関する校内研修の実施に向けた年間の研修計画を作成し、授業研究を通して、各教科等における人権教育の充実を図っていますか。

ア 図っている	イ どちらかと言えば図っている
ウ どちらかと言えば図ることができていない	エ 図ることができていない

20 教育を取り巻く環境や教育活動を改善するために、人権教育の推進体制に関する研修や、児童生徒・教職員・保護者に対する人権感覚の育成についての研修を行っていますか。

ア 行っている	イ どちらかと言えば行っている
ウ どちらかと言えば行っていない	エ 行っていない

21 研修の目的に応じて、参加体験型の手法など多様な手法を取り入れながら研修を行っていますか。

ア 行っている	イ どちらかと言えば行っている
ウ どちらかと言えば行っていない	エ 行っていない

22 人権が尊重される環境づくりに向けて、児童生徒への理解を深め、児童生徒の捉え方や、言葉掛け等児童生徒とのかかわり方についての研修を行っていますか。

ア 行っている	イ どちらかと言えば行っている
ウ どちらかと言えば行っていない	エ 行っていない

23 発達障害等のある児童生徒の特性に応じた指導の充実に向けた研修を行っていますか。

ア 行っている	イ どちらかと言えば行っている
ウ どちらかと言えば行っていない	エ 行っていない

24 同和問題をはじめとする県民に身近な10の人権課題についての学習の充実に向けた研修を行っていますか。

ア 行っている	イ どちらかと言えば行っている
ウ どちらかと言えば行っていない	エ 行っていない

25 人権教育の校内研修においては、どのような立場の人が講師を務めていますか。(複数回答可)

ア 管理職	イ 人権教育主任
ウ 研究主任	エ 生徒指導主事
オ 特別支援コーディネーター	カ 市町村教育委員会の指導主事等
キ 教育事務所の指導主事等	ク 教育センターの指導主事等
ケ 県教育委員会の指導主事等	
コ その他 ()	

人権教育を推進するにあたっては、管理職のリーダーシップのもと、人権教育主任（担当者）を中心に、教職員が一体となって人権教育に取り組むための推進体制を確立することが大切です。

また、学校の人権教育全体計画・年間指導計画に基づいて実践したことを、人権教育推進アクションシートなどを活用し、PDCAサイクルに沿って定期的に点検・評価を実施することを通して、学校の取組のさらなる充実を図っていくことが求められます。そのような視点で、学校の人権教育推進体制を振り返り、次の質問にお答えください。

【26～30：組織的・継続的な取組とその点検・評価に関する質問】

26 児童生徒や地域の実情を踏まえ、人権教育目標の設定、計画的・系統的な人権教育全体計画・年間指導計画を作成し、その計画に基づいた取組を行い、PDCAサイクルに沿って検証・改善を進めていますか。

ア 進めている	イ どちらかと言えば進めている
ウ どちらかと言えば進めることができていない	エ 進めることができていない

27 教職員、児童生徒、保護者などのいろいろな視点から組織的な取組の点検・評価を行っていますか。

ア 行っている	イ どちらかと言えば行っている
ウ どちらかと言えば行っていない	エ 行っていない

28 校長、教頭、人権教育主任（担当者）が中心となって、効果的・効率的に機能する人権教育の推進体制を確立していますか。

ア 確立できている	イ どちらかと言えば確立できている
ウ どちらかと言えば確立できていない	エ 確立できていない

29 学校の取組が家庭や地域に“見える”ように情報を発信し、学校、家庭、地域それぞれが連携しながら人権教育を推進する体制を確立していますか。

ア 確立できている	イ どちらかと言えば確立できている
ウ どちらかと言えば確立できていない	エ 確立できていない

30 「学校いじめ防止基本方針」に基づく実践を進めるため、「いじめの防止等の対策のための組織」が機能していますか。

ア 機能している	イ どちらかと言えば機能している
ウ どちらかと言えば機能していない	エ 機能していない

小・中・高校生スマートフォン等の所持率が増加するなか、ネットいじめやネット依存など、児童生徒のインターネット利用をめぐるさまざまな問題が深刻化しつつあります。児童生徒のネットトラブルの現状や、それらを未然に防ぐ学校の取組について、次の質問にお答えください。

【31～32：インターネット接続機器の使用やルールに関する質問】

31 児童生徒が使用しているインターネット接続機器に関するトラブルの相談や指導した内容は、どのようなものがありましたか。(複数回答可)

ア インターネットによる誹謗中傷	イ グループトークからの仲間はずし
ウ 不正・架空請求等	エ 迷惑電話（ワン切りなど）やメール
オ 写真や個人情報のインターネット上への流出	カ メールや写真の他人への転送
キ 知らない人物からの連絡による対応	ク ながらスマホ等による事故
ケ 過度の使用による寝不足など健康被害や学力低下	コ ない
サ その他（	）

32 児童生徒がインターネット接続機器を安全に使用し、事件やトラブルを防ぐために、どのような取組を行っていますか。(複数回答可)

ア 情報モラル教育の推進	
イ 児童生徒がインターネットの危険性や正しい使い方を学ぶ機会の設定	
ウ 児童会や生徒会が中心となって、安全にインターネットを利用するためのルールづくりを行う (例：夜9時以降はインターネットを利用しない等)	
エ PTAや保護者会などを通じて、インターネットの危険性や適正利用について、保護者に対する啓発活動の充実を図る	
オ PTAや各家庭で、インターネット利用についてのルールづくりを行う	
カ 保護者に対して、フィルタリングの設定を徹底する	
キ その他（	）

アンケートへのご協力をありがとうございました。
今後の人権教育の施策の充実のために活用させていただきます。